

平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月12日

上場会社名 株式会社カンセキ 上場取引所 大
 コード番号 9903 URL http://www.kanseki.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 静夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 高橋 利明 (TEL) 028-659-3112
 四半期報告書提出予定日 平成24年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	7,674	△2.9	332	△35.0	252	△42.4	159	△26.1
24年2月期第1四半期	7,906	7.8	512	113.0	439	187.5	215	165.1

(注) 包括利益 25年2月期第1四半期 157百万円(△22.1%) 24年2月期第1四半期 201百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	10.75	—
24年2月期第1四半期	14.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第1四半期	26,644	4,762	17.9
24年2月期	26,338	4,642	17.6

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 4,762百万円 24年2月期 4,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	2.50	2.50
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	0.00	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,000	△0.4	650	△29.3	480	△37.2	210	△36.0	14.19
通期	30,000	△2.1	900	△21.7	550	△32.7	240	△61.6	16.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期1Q	16,100,000株	24年2月期	16,100,000株
② 期末自己株式数	25年2月期1Q	1,295,800株	24年2月期	1,295,800株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期1Q	14,804,200株	24年2月期1Q	14,804,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成24年3月1日から平成24年5月31日)におけるわが国経済は、震災による影響が未だ続く中、一部の被災地において、復興需要の高まりが見られるものの、他の地域を含めた全体の景気底上げにはいたっておりません。国外においては、昨年来からの欧州危機は未だ解決の糸口も見えず、国内では消費税増税などの新たな負担増、夏季に向かって電力供給の不安定さが懸念され、経済動向の先行き不透明な状況が続いており、その影響で、依然として個人消費が伸び悩んでいる状況であります。

当社グループにおける第1四半期連結累計期間は、主たる営業地域において、震災による特需現象は平常に戻りつつあり、前年同期と比較し、売上、利益などの反動減が見受けられるものの、その業績は、計画通り推移いたしました。

当第1四半期連結累計期間における、売上高は76億74百万円(前年同四半期比2.9%減)、営業利益は3億32百万円(前年同四半期比35.0%減)、経常利益2億52百万円(前年同四半期比42.4%減)、特別損失に固定資産除却損5百万円及び投資有価証券評価損3百万円を計上し、その結果、四半期純利益1億59百万円(前年同四半期比26.1%減)となりました。

なお、報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

[ホームセンター事業]

ホームセンター事業につきましては、商圈地域内において、震災に関わる需要が落ち着いたことにより、資材関連の売上高に反動減が生じている一方で、頻発する地震への備えとして、耐震商品、備蓄品などの防災関連商品が、引き続き堅調に推移しております。また、春先からの天候不順による影響で、園芸関連などの季節商品や自転車の売上が低迷いたしました。前年度に灯油販売所を新設した2店舗では、客数が増加し、順調に売上を伸ばしており、業績は、計画通りに推移しております。

これらの結果、営業収益は49億82百万円(前年同四半期比2.8%減)、セグメント利益は2億53百万円(前年同四半期比26.2%減)となりました。

[WILD-1事業]

WILD-1事業においては、春先からの低温の影響で、春物商品の出足が遅れました。また、防災への意識が高まる中、災害への備えを目的とした、お客様の来店が増加いたしました。原発事故の影響で、河川の釣り解禁日が延期され、釣具関連の売上が伸び悩んでいるものの、売上、利益ともに計画を上回って進捗しております。

これらの結果、営業収益は14億82百万円(前年同四半期比6.9%減)、セグメント利益は1億18百万円(前年同四半期比39.1%減)となりました。

〔専門店事業〕

専門店事業につきましては、業務スーパー店舗における昨年来からの客数増加傾向や、新規のお客様の固定化などにより、その業績は、順調に伸長し計画を上回っております。オフハウス店舗においては、メンズ・レディースウェアなどが売上を牽引するとともに、ゴールデンウィーク期間中のブランドバッグ、家電品、家具などの販売企画が好調だったことなどもあり、業績は、計画通りに推移いたしました。

これらの結果、営業収益は13億円（前年同四半期比3.3%増）、セグメント利益は77百万円（前年同四半期比9.9%減）となりました。

〔店舗開発事業〕

店舗開発事業につきましては、計画通り安定した利益をあげております。

店舗開発事業における営業収益は2億2百万円（前年同四半期比6.7%減）、セグメント利益は46百万円（前年同四半期比18.0%増）となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産・負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、266億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億5百万円の増加となりました。主な要因としては、短期借入金の減少に伴う現金及び預金の減少4億27百万円及び減価償却や敷金及び保証金の返還による固定資産の減少30百万円の減少要因に対し、クレジット売上増に伴う売掛金の増加1億24百万円及び夏物商材の仕入による商品の増加6億17百万円の増加要因によるものであります。

負債は、218億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億85百万円の増加となりました。主な要因としては、短期借入金の減少5億30百万円、法人税等の納付による未払法人税等の減少1億36百万円及び確定拠出年金分割移換金の拠出等によるその他固定負債の減少93百万円の減少要因に対し、支払手形及び買掛金の増加9億26百万円の増加要因によるものであります。

純資産は、47億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億20百万円の増加となりました。主な要因としては、配当金の支払37百万円の減少要因に対し、当第1四半期連結累計期間において四半期純利益1億59百万円を計上したことによるものであります。この結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は17.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想につきましては、平成24年4月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,263,843	836,159
売掛金	131,280	256,063
商品	4,566,621	5,184,535
その他	643,417	665,758
貸倒引当金	△2,374	△3,748
流動資産合計	6,602,788	6,938,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,017,955	3,962,857
土地	11,696,299	11,760,068
その他(純額)	180,639	183,839
有形固定資産合計	15,894,894	15,906,765
無形固定資産		
投資その他の資産	681,409	671,106
敷金及び保証金	2,566,091	2,537,871
その他	593,601	589,980
貸倒引当金	△133	△103
投資その他の資産合計	3,159,558	3,127,748
固定資産合計	19,735,863	19,705,621
資産合計	26,338,652	26,644,389
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,135,299	4,062,264
短期借入金	7,059,734	6,529,577
未払法人税等	224,434	88,275
賞与引当金	—	52,866
ポイント引当金	159,279	150,254
その他	649,632	611,713
流動負債合計	11,228,380	11,494,950
固定負債		
長期借入金	8,569,514	8,580,059
退職給付引当金	640,485	650,542
役員退職慰労引当金	28,340	28,340
資産除去債務	82,117	82,487
長期預り敷金保証金	574,179	565,925
その他	573,172	479,408
固定負債合計	10,467,807	10,386,761
負債合計	21,696,187	21,881,712

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,926,000	1,926,000
資本剰余金	1,864,000	1,864,000
利益剰余金	1,039,700	1,161,831
自己株式	△232,317	△232,317
株主資本合計	4,597,382	4,719,513
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,081	43,163
その他の包括利益累計額合計	45,081	43,163
純資産合計	4,642,464	4,762,677
負債純資産合計	26,338,652	26,644,389

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
売上高	7,906,295	7,674,989
売上原価	5,619,781	5,477,946
売上総利益	2,286,513	2,197,043
営業収入	297,516	301,140
営業総利益	2,584,029	2,498,184
販売費及び一般管理費	2,071,952	2,165,468
営業利益	512,077	332,716
営業外収益		
受取利息	440	201
受取配当金	560	809
受取保険金	10,276	10,001
その他	5,932	3,000
営業外収益合計	17,209	14,013
営業外費用		
支払利息	89,794	93,277
その他	427	633
営業外費用合計	90,221	93,911
経常利益	439,065	252,818
特別利益		
固定資産売却益	111,811	—
賃貸借契約解約益	60	—
特別利益合計	111,871	—
特別損失		
固定資産除売却損	27,360	5,632
投資有価証券評価損	—	3,508
災害による損失	115,379	—
退職給付制度改定損	50,159	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37,696	—
その他	7,161	—
特別損失合計	237,757	9,141
税金等調整前四半期純利益	313,179	243,676
法人税、住民税及び事業税	179,334	79,537
法人税等調整額	△81,464	4,997
法人税等合計	97,869	84,535
少数株主損益調整前四半期純利益	215,309	159,141
四半期純利益	215,309	159,141

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	215,309	159,141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,477	△1,918
その他の包括利益合計	△13,477	△1,918
四半期包括利益	201,832	157,223
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	201,832	157,223

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ホームセン ター	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	5,127,249	1,592,599	1,259,269	217,641	8,196,758	7,052	8,203,811	—	8,203,811
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	3,267	3,267	18,480	21,747	△21,747	—
計	5,127,249	1,592,599	1,259,269	220,908	8,200,025	25,532	8,225,558	△21,747	8,203,811
セグメント利益	344,015	194,867	86,200	39,400	664,483	6,215	670,699	△158,622	512,077

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△158,622千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△158,622千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ホームセン ター	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	4,982,932	1,482,801	1,300,806	202,983	7,969,523	6,606	7,976,130	—	7,976,130
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	3,267	3,267	16,350	19,617	△19,617	—
計	4,982,932	1,482,801	1,300,806	206,250	7,972,790	22,956	7,995,747	△19,617	7,976,130
セグメント利益	253,969	118,711	77,635	46,493	496,810	2,445	499,255	△166,539	332,716

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△166,539千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△166,539千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。